

令和6年 第4回 市議会定例会

市長所信表明（要旨）

蕪 崎 市

本日ここに、「令和6年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

10月27日に執行された衆議院議員総選挙におきましては、与党の議席が過半数を満たさず、少数与党による第2次石破内閣が発足いたしました。

この選挙で示された民意を厳粛かつ謙虚に受け止められ、丁寧な議論と合意形成により、直面している課題を乗り越えるため、全力で取り組んでいただくことを期待するものであります。

また、市民生活に影響を及ぼしている物価高騰をはじめとする経済対策等につきましては、早急な対応が求められていることから、引き続き、国の動向に注視してまいりたいと考えております。

さて、市制施行70周年を祝い、10月12日に開催いたしました「葦崎市制祭」及び「ワインフェスティバル」につきましては、6年ぶりに本町通りや駅前広場などを会場に、晴天の秋空のもと、グルメ屋台の出店のほか、「ゆるスポーツ」、「黑板アート」、「浅草サンバカーニバル」、「ワインの試飲」などのイベントを実施する中で、2万人を超える方々で賑わい、盛大に開催することができました。

なお、パリオリンピックで金メダルを獲得した「文田健一郎選手を祝う会」におきましては、予定していたパレードがやむなく中止となったものの、多くの市民の皆様とともに祝意と敬意を表したところであります。

また、26日の「甘利山クリーン大作戦」では、総勢170名の市民他多数のご協力をいただき、昨年度に引き続き、実施することができました。

特に本年は、南アルプスがユネスコエコパークに登録されてから10周年となる節目の年でもあり、会場内には保全活動をPRする展示パネルを設置するなど、緩衝地域である甘利山への関心と理解を深める取り組みも行ったところであります。

こうした活動がさらに促進され、今後もレンゲツツジが咲き誇り、多くの方々に訪れていただくことを願っております。

先月２３日に、本市のスポーツ振興の拠点として親しまれた市営体育館への感謝の気持ちを込め、荏崎市スポーツコミッション主催による「ゆるスポーツフェスタ&マルシェ２０２４」を開催し、市内外から多くの方々にご参加いただきました。

今回のイベントを契機に、こどもから高齢者までが気軽に運動を親しめる環境づくりと、明年度完成予定の新体育館を新たな拠点とした「ウェルネスの実現」に繋げ、スポーツを通じた市民の健康づくりと交流人口の拡大を推進してまいります。

また、今月３０日には彫刻などの芸術作品と雄大な富士山を望む景観を楽しみながら、年齢・性別を問わず少人数でも参加できる「幸福の小径ミニ駅伝」を開催することとしており、市の魅力の発信と運動機会の創出に繋げてまいります。

９月に予定していた地震を想定した総合防災訓練につきましては、台風１０号の影響により、やむなく中止といたしましたが、阪神・淡路大震災や能登半島地震のように、冬季に発生することを想定した総合防災訓練を来月２６日に実施いたします。

内容につきましては、東京エレクトロン荏崎文化ホールなどで行う特定地区総合防災訓練や職員の初動対応に加え、協定先の支援によるヒーター及び発電機等の搬送・設置や、水道が使えない場合の避難所配備トイレの確認などを行い、冬季における訓練を体験することで、あらゆる場面での地震の備えに取り組んでまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、子育て支援の充実についてであります。

こどもに優しいまちづくりに向け、各種アンケートやワークショップ等を実施する中で、市民の想いを集約した「子どもの権利条例」と、関連施策を推進するための「こども計画」について、現在、素案をまとめているところであり、今後、パブリックコメントを実施していく予定であります。

市民全体で子どもの育ちを支え、権利と利益を最優先に考えることで、未来を担う子どもたちの視点に立ったまちづくりを目指してまいります。

また、本年１０月分からの児童手当の抜本的拡充につきましては、所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間の延長等にあたり、関係システムの改修を行い、対象となる市民の皆様へ勧奨通知を送付するなど、制度改革が滞りなく実施できるよう対応しております。

次に、健康づくりの推進についてであります。

住友生命保険相互会社と締結した「健康づくり推進に関する協定」に基づき、10月14日より実施しております「Vitality 荏崎ウォーク」事業では、スマートフォンのアプリを用いてウォーキングをすることでポイントを獲得し、週間目標を達成すると、ドリンクなど各種特典と交換できるものであり、定員を超える227名の方の申込みがありました。

参加者が短期的な目標の達成を繰り返す中で、運動習慣を身につけ、健康増進に繋がることを期待しております。

次に、公共交通網の整備についてであります。

市民バス竜岡線につきましては、明年2月より、AIを活用した最適な配車により、利用したい時間帯に、より自宅の近くから乗車を可能とするオンデマンド交通を導入いたします。

基本理念である「人とまちを繋ぎ 暮らしを支える 持続可能な公共交通の実現」を目指し、今後もさらなる利便性及び満足度の向上を図り、利用しやすい市民バスとなるよう努めてまいります。

次に、住宅・宅地の整備についてであります。

現在、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の改正に基づき、「荏崎市空家等対策推進計画」の見直しを進め、素案をまとめているところであります。

今後は、法務や建築など様々な観点から審議を重ね、パブリックコメントを実施し、空き家の発生抑制、適切な管理及び活用促進などに繋げてまいります。

次に、農林業の振興についてであります。

先月4日に、市内のワイナリー4箇所、開設予定者の農場1箇所を巡るイベント「にらさきワインタクシー」を開催したところ、多くの方が参加され、にらさきワインのルーツや自然環境を楽しんでいただきました。

今後も、さらなる普及と販路拡大及び新たなファンの獲得に取り組んでまいります。

次に、穂坂地区工業用地造成事業についてであります。

第1工区につきましては、地権者をはじめ、地元穂坂町の住民や隣接企業の皆様の格別なるご理解とご協力のもと、先月8日に東京エレクトロン株式会社と売買契約を締結することができました。

また、第2工区につきましては、9月下旬から工事を本格化しており、周囲への影響や安全に配慮し、早期の事業完了を目指してまいります。

次に、定住対策の促進についてであります。

市民の出会いの機会を創出する婚活事業につきましては、例年、近隣自治体と合同で実施しているところではありますが、新たな試みとして、蕨崎市商工会と連携し市内事業所に就業する若者による実行委員会を立上げ、気軽に友達づくりができる「友活」事業の開催に向け、準備を進めてまいります。

次に、健全な財政運営の推進についてであります。

商店や企業などのPR及び地域経済の振興を図るとともに、公有財産を有効活用するため、公用車への有料広告を募集し、新たな自主財源の確保に努めてまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の9月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	1件、
予算案件	9件、
条例案件	3件、
その他案件	4件であります。

先ず、令和6年度予算の専決事項についてであります。

9月補正予算編成後において、衆議院議員総選挙を執行するため、1,614万1千円の追加補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第

3号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、本会議でご審議いただく一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、歳入において、市民税及び固定資産税を増額しており、歳出につきましては、給与勧告に基づく職員給与費の増額補正のほか、緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

先ず、議会費につきましては、給与勧告により職員給与費を48万4千円増額するなど、総額95万8千円を増額補正しております。

次に、総務費であります。

市民交流センター屋上駐車場の落下防止強化対策工事のため、1,571万9千円を追加するほか、郵便料改定に伴う増加等を見込み、文書管理事業費に1,038万2千円を増額するなど、総額4,209万4千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

私立幼稚園等への施設型給付費が補助基準単価の見直しにより増加したため、子ども・子育て支援事業費に5,872万7千円を追加するほか、生活保護世帯の増加に対応するため、生活保護施行事業費に6,371万円を増額するなど、総額2億7,958万円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の勧奨による接種者の増加に対応するため、予防接種事業費に1,362万1千円追加するほか、資産購入費等に対する病院事業会計への繰出金として、病院事業会計補助金に736万8千円を増額するなど、総額2,885万4千円を増額補正しております。

次に、労働費であります。

峡北シルバー人材センターへの負担金の確定により、高年齢者労働能力活用事業費を138万円減額するなど、45万8千円を減額補正して

おります。

次に、農林水産業費であります。

農業用道水路等の応急的な修繕の増加により、小土地改良事業費を603万7千円増額するほか、農業用機械を購入するための補助金を市内農事組合法人に交付するため、農業団体育成事業費に170万5千円を追加するなど、総額907万9千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

給与勧告により職員給与費を155万4千円増額するなど、総額167万5千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

市道等の応急的な修繕に対応するため、道路橋梁維持事業費を1,690万6千円増額するほか、運営費補助金を水道事業会計へ繰り出すため、水道事業会計補助金に1,344万2千円を追加するなど、総額3,844万4千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

消火栓を移設するため、消防施設整備事業費を107万1千円増額するなど、総額238万円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

国庫補助金の減額に伴い、総合運動場整備事業費を2,112万5千円減額する一方、穴山屋内運動場建設予定地に隣接する急傾斜地の崩壊対策工事のため、地域体育館建設事業費に2,028万4千円増額するなど、総額3,198万9千円を増額補正しております。

次に、公債費であります。

令和5年度事業債の借入額等の確定に伴い、長期債利子償還金を887万2千円追加するなど、総額728万7千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、4億4,188万2千円の増額補正となり、現計予算額は194億8,889万7千円となります。

なお、物価高騰の影響を受ける市民の皆様や事業者を支援するため、現在、国の総合経済対策の推奨事業も参考にしつつ、追加補正予算の提出に向けた準備も進めております。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案であります。

国民健康保険特別会計につきましては、定期人事異動及び給与勧告による職員給与費を66万2千円減額するほか、過年度特別交付金の確定に伴い、国庫支出金等返還金に101万7千円を計上するなど、総額148万3千円を増額補正しております。

後期高齢者医療特別会計につきましては、給与勧告による職員給与費を13万7千円増額するほか、後期高齢者医療広域連合納付金を2,230万2千円追加するなど、総額2,243万9千円を増額補正しております。

介護保険特別会計につきましては、給与勧告による職員給与費を298万7千円増額する一方、居宅介護サービス給付費等の保険給付費を3,391万5千円減額するなど、総額2,229万7千円を減額補正しております。

介護サービス事業特別会計につきましては、給与勧告による職員給与費を64万5千円追加するなど、総額19万3千円を増額補正しております。

甘利山財産区特別会計につきましては、財政調整基金への積立金として194万6千円増額するほか、甘利小学校への寄附として、一般会計繰出金を200万円追加し、総額394万6千円を増額補正しております。

病院事業会計につきましては、診療材料費を減額する一方、定期人事異動及び給与勧告により人件費を増額し、収益的支出を633万6千円増額するとともに、医療機器購入費及び企業債償還金等の確定により、資本的支出を1,482万1千円減額補正しております。

水道事業会計につきましては、定期人事異動及び給与勧告による人件費や動力費等の増加により、収益的支出を593万4千円増額し、消火

栓移設工事の追加計上等により、資本的支出を21万5千円増額補正しております。

下水道事業会計につきましては、定期人事異動及び給与勧告による人件費の減額等により、収益的支出を141万1千円及び資本的支出を213万9千円それぞれ減額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記しておりますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

結びにあたり、議員各位におかれましては、寒冷のみぎり、ますますご健勝にてご活躍されますことを衷心よりご祈念申し上げまして、私の所信といたします。

令和6年12月5日

韭崎市長 内 藤 久 夫